## 「アリの迷路作ってるんだ!」



戸外で遊んでいた時のこと。何やら数名集まって観察中・・・?近づいてみると、指で地面に何かを描いていました。「すごい長い線だね!」と言うと「ちがう、これ迷路!アリの!」そう話す目線の先には確かにアリ



「僕はこっちからつなげるね!」「ここお風呂にしたら?」 友達同士でどんどん話し合い、園庭中に迷路が広がっていき ます ♥



少し離れた場所で絵を描いていた子とも合流!「このハートにつなげよう!」「いいよ!これ何~?」「アリの迷路だよ!」違う遊びをしていた子も興味を持って参加します ♡

それぞれが持つ「迷路」というイメージを、友達同士で話をすることで共有し、ああしてみよう、こうしてみよう、とどんどん広がっていく様子に、すごく成長を感じた場面でした → 保育者が「今日はこの遊びをします!」とねらいをもって活動を計画することはもちろん大事ですが、こうした子ども達の気付きや会話から生まれ、広がっていく遊びもまた、どんどん展開して色んな人を巻き込んで楽しめるよう見守りたいと思います ✓